

スギバークコンポストを利用した コンテナ苗生産試験結果の概要 【実生 スギ・ヒノキ・カラマツ】

林野庁整備課

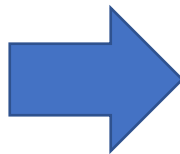
令和4（2022）年3月

（令和3年度コンテナ苗生産技術等標準化に向けた調査委託事業より抜粋）

スギバークコンポストとは？

- 製材所で発生したスギの樹皮（バーク）を3年程度野積み・切返して自然発酵させ、それを粉碎した培地です。
- 主に宮崎県を中心にコンテナ苗の培地としてスギさし木苗の栽培に利用されています。

スギバークコンポストのできるまで



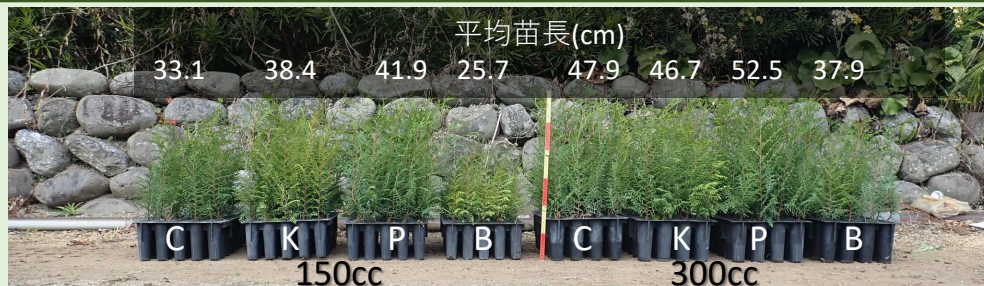
【目的】 スギバークコンポストを用いて スギ・ヒノキ・カラマツの実生でもコンテナ苗の栽培が可能か検証

- スギ、ヒノキ、カラマツの実生でも、スギさし木と同様にコンテナ苗の栽培が可能か試験を行いました。
- ココナツピートをベースにした培地とスギバークコンポストをベースにした培地でコンテナ苗を栽培し、その成長を比較しました（下表）。
- 事前試験（令和2(2020)年実施）でスギバークコンポスト100%は、特にヒノキで他の培地に比較して生育が悪かったため、栽培試験では通水性・通気性の改善に15~30%他の素材を配合しました（令和3(2021)年実施）。

主要培地	記号	配合	元肥
ココナツピート	C	ココナツピート100%	<ul style="list-style-type: none"> ハイコントロール085（100日タイプ）10g/L クドミネラル1g/L
	K	ココナツピート80%：鹿沼土20%	
	P	ココナツピート85%：パーライト15%	
スギバークコンポスト	B	スギバークコンポスト100%	
	BC15	スギバーク85%：ココナツピート15%	
	BC30	スギバーク70%：ココナツピート30%	
	BK15	スギバーク85%：鹿沼土15%	
	BK30	スギバーク70%：鹿沼土30%	
	BP15	スギバーク85%：パーライト15%	

事前試験（令和2(2020)年実施）

ヒノキコンテナ苗（3月に約4.7cmの毛苗を移植）は、他のココナツピートの培地で栽培した結果よりも成長が悪かった（右写真：11月測定）。



【結論】 スギバークコンポストに

鹿沼土等の素材を15%程度配合することにより、栽培可能です。

- 令和2(2020)年秋～令和3(2021)年春に10cm程度の苗をコンテナに移植し、令和3(2021)年秋に苗長等の測定を行いました。
- 結果、スギバークコンポストにココナツピート・鹿沼土・パーライトを15%以上配合した培地で栽培した実生のスギ・ヒノキ・カラマツともに、ココナツピートをベースにした培地と比較して遜色なく育ち、枯死率にも大きな差はありませんでした。

